

今月は「ヨルダン」を覚えてお祈りください

ヨルダンは、中東・西アジアに位置する国家。地理的には日本からは離れてはいるが、日本と同じように民主主義に立っている立憲君主制国家。統治の始まりはイスラムの預言者ムハンマドの従弟アリーとムハンマドの娘ファティマの夫妻。同じ家系であるハーシム家出身の国王が世襲統治している。ヨルダン王国の隣には、イスラエル、パレスチナ暫定自治区、サウジアラビア、イラク、シリアがある。イスラエル・パレスチナ暫定自治区とはヨルダン川と死海が境となっている。首都はアンマン。

ヨルダンの経済・政治・宗教について

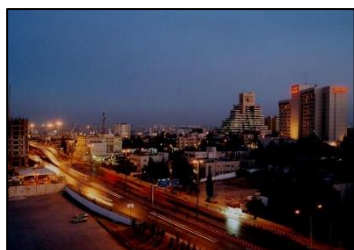
地政学に基づいた政策が過去 60 年以上行われており、これが経済の発展を妨げている。貧困と失業率が国の大きな課題となっている。ヨルダンの経済を支えているのは観光業や農業である。ヨルダンは原油や水資源に乏しい。1999 年からアブドゥラ王によって大きな経済改革が行われた。

1918 年までトルコ王国の一部分であった。イギリスから 1946 年に独立した。アブドゥラ王が大きな権力を持って国を治めている。中東での不穏な情勢によって、ヨルダンには多くの難民が流れており、経済的な圧迫を与えている。

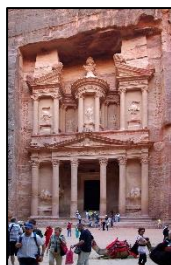
国教はイスラム・スンニ派であり、国民のほとんどがこれに属している。国は信教の自由を認めており、宗教的な差別や迫害は認められていない。キリスト教会も公に活動することができるほどの自由が認められているが、福音派のいくつかの教会はある程度の弾圧を経験している。

ヨルダンのその他の情報

面積:92, 300km<sup>2</sup> (日本の約 4 分の 1) 人口:6, 472, 392(日本の約 5% 2010 年時点)



首都「アンマン」



世界遺産「ペトラ」



市場の様子

宗教:	
イスラム教	96.47%
キリスト教	2.24%
無宗教	1.00%
その他	0.28%
バハイ教	0.01%

「あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。」  
マタイの福音書 5 章 7 節

祈禱課題

数多くの未伝部族を覚えて

ヨルダン人すべてが福音を聞けるために多くの部族の中にイエスの栄光が現されなければならない。

イスラム教に属する大多数の国民— 多くは福音をはっきりと聞いたことが一度もない。イスラムの背景を理解しているキリストのあかし人が必要だ。ヨルダンでの宣教で特に用いられている方法は、文書伝道、メディア伝道、友達から友達へのあかし、教育的なプログラム、家での集会やキャンプである。イエスを救い主として信じた者たちが迫害から守られなければならない。イスラム教からキリストに回心している者の数は増え続けている。彼らが公にクリスチャンとして歩むことを国が認める奇跡がおこるように。

パレスチナ人— ヨルダン国民の数百万人がパレスチナ人である。祖国から追い出された 2 代目や 3 代目の人が多い。ヨルダン文化に溶け込んだ人々がいる一方で、いまだに苦い思いや傷を抱えている者も少なくない。カルバリの十字架においてあげられたイエスだけが彼らをいやすことができる。

イラクからの難民— 2 回の湾岸戦争によって百万人もイラク人がヨルダンへと逃げた。数十年たっても、自国に戻りたいと願っている者は半分にも満たないという。難民に対する宣教は多くの実を結んでいる。ヨルダンの教会はイラク難民への働きかけに有効な方法をもっている。ヨルダン政府はイラク難民を温かく歓迎していないものの、教会は彼らに積極的な支援をしている。ヨルダンの教会は難民に対して教育の場所を提供することを願っている。

ベドウィン人— 30 万人いるとされており、多くが遊牧民である。クリスチャンの数は少ないが、彼らに対する宣教はすでに行われている。さらなる具体的なミニストリーが必要となっている。

ドム・ジプシーたち— 社会から隠されている貧困層である。福音を伝えるとともに、生活改善や衛生教育などといった総合的な働きかけが必要とされている。特に、自分たちのことばで聖書が聞けるメディアが必要だ。

国際色豊かなヨルダン人たちのために— ヨルダンはサウジや湾岸アラブ人たちの観光地である。中東の国々から仕事を求めてヨルダンに来る者も多い。ヨルダンにいる間に福音を聞くことができるように。